

### 31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030175202

病院施設番号：030175

臨床研修病院の名称：東京都済生会中央病院

臨床研修病院群番号：0301752

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		東京都済生会中央病院初期臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色		<p>第一は、プライマリ・ケアの基本である内科研修および救急研修 (ER) に重点を置いている点にある。十分な内科研修とともに、ER 研修、さらに夜間・休日の日当直があり、豊富な症例を経験可能である。第二は、教育指導体制の充実にある。各診療科に厚生労働省指定の指導医養成講習会を修了した指導医を配置し、研修医指導に当たっている。内科系総合診療病棟の N4 病棟では、指導医・チーフレジデント・専修医・初期研修医がチームとなって診療に当たり、屋根瓦方式の下、研修医が主体性を持って診療を行うことが可能である。CPC 及び研修医対象の各種教育レクチャーや症例カンファレンスも数多く開催されている。第三は、柔軟なプログラムで 2 年目には 18 週間の選択期間が用意され、多くの診療科から選択可能である。第四は、“自立と自律”に表現されるように、社会人・医療人として信頼・尊重される人材となるために、プロフェッショナルリズム育成プログラムを組み込んでいる点である。次世代を担う新たな医療人を育成することが、当院および済生会に課せられた義務と考えている。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要		<p>患者中心の高度・良質な医療サービスを提供するとともに、自らの専門領域以外のプライマリケアをも提供可能な臨床医となるために、プライマリケアに必要な基礎的知識・技術・マナーを修得する。また医療を生涯にわたり全うするために、臨床医が具備すべき倫理観と社会性、自律性の素地を醸成し、プロフェッショナルスピリットの基礎を自己の中に確立する。</p>			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		<p>研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 3 年目以降は、内科・麻酔科・救急科の専修医として専門研修が可能。</p>			
5. 臨床研修を行う分野		<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</li> <li>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</li> <li>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</li> </ul>			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修	内科	030175	東京都済生会中央病院	44 週	3.2 週
	救急部門	030175	東京都済生会中央病院	13 週	

科目・分野	地域医療	034317 041102 056525 066627 076795 126828 126829 137262 178459 201047	馬場クリニック 岩手県済生会岩泉病院 津和野共存病院 東京都済生会向島病院 岡田医院 細川内科クリニック 中目黒四家クリニック むすび葉クリニック 下北沢病院 はれクリニック神田川	4週	一般外来 0.2週 在宅診療 2週
	外科	030175	東京都済生会中央病院	9週	0.8週
	小児科	030137 030175	埼玉県済生会川口総合病院 東京都済生会中央病院	4週	0.2週
	産婦人科	030175 036382	東京都済生会中央病院 社会福祉法人 聖母会 聖母病院	4週	
	精神科	030175 031390 034329	東京都済生会中央病院 医療法人財団厚生協会 大泉病院 社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院	4週	
	一般外来			週	
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030175	東京都済生会中央病院	4週	週
					週
					週
					週
選択 科目	選択	030175	東京都済生会中央病院	18週	週
					週

備考：CPC は東京都済生会中央病院で実施する。小児科は、東京都済生会中央病院、埼玉県済生会川口総合病院のローテートで、総合して4週間の研修となる。産婦人科は、東京都済生会中央病院、聖母病院のローテートで、総合して4週間の研修となる。精神科は、東京都済生会中央病院、大泉病院、又は桜ヶ丘記念病院のローテートで、総合して4週間の研修となる。地域医療は、岩手県済生会岩泉病院、津和野共存病院、東京都済生会向島病院、下北沢病院、6ヶ所の診療所（馬場クリニック、岡田医院、細川内科クリニック、中目黒四家クリニック、むすび葉クリニック渋谷、はれクリニック神田川）の内、在宅診療研修として岡田医院、むすび葉クリニック渋谷、はれクリニック神田川のいずれかで2週間、その他の施設のいずれかを2週間ローテート研修する（期間は全体で4週間）。選択は、内科（N4病棟を除く）のほか、精神科、小児科、一般・消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急診療科の中から選択可能。

研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約48～92回

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科

在宅診療の研修を行う診療科・・・地域医療

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約〇〇回  
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・〇〇週※但し、4週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・〇〇科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること





